

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 二階堂 昌喜		
環境-26	重点事業	今泉クリーンセンター管理運営事業	<input type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
			<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	環境施設課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。 ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	74,548人		74,299		74,402人			
運営資源状況	決算値(千円)	49,981	50,257		当初予算(千円)	53,962		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	14,096	9,569		その他	15,386		
	一般財源	35,885	40,688		一般財源	38,576		
	人員配置数	8.2	8.2		人員配置数	7.4		
	人件費(千円)	66,934	66,773		人件費(千円)	61,406		
事業経費運営	総事業費(千円)	116,915	117,030		総事業費(千円)	115,368		
	市民1人当りの経費(円)	660	662		市民1人当りの経費(円)	654		
	対象者1人当りの経費(円)	1,568	1,575		対象者1人当りの経費(円)	1,551		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	中継施設、粗大ごみ処理施設として適正に運営するための必要な維持管理。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	一般廃棄物の処理については市町村の責務となっており、適正な施設管理によって、事業系一般廃棄物の受入れ、搬送業務を確実に行う必要がある。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	名越クリーンセンターへの搬送量の制限、臭気対策及び行楽時期の交通渋滞、前年度分のごみの繰越等、ごみピットの適正管理に苦慮した。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	事業系ごみの名越クリーンセンターへの直接搬入、搬送業務時間の延長及び市外施設への搬送で対応した。消臭剤の種類や濃度を変えるなどの臭気対策を行った。臭気対策については、今後も使用したことのない消臭剤の試用を行い、ピット貯留時や自区内搬送時の臭気対策に一層効果の高いものを選定していく。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	1日当たりの中継施設搬出量						単位	トン/日	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
1日当たりの標準搬出量(30トン)に対して、効率よく積み込むことにより上積みを図る。	目標値	30トン/日	30トン/日	30トン/日	30トン/日	30トン/日	30トン/日				
	実績値	24トン/日	36トン/日	43トン/日							
	達成率	80.0%	120.0%	143.3%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	搬送用のトラックにごみを積み込む際に、業務に従事する職員、運転手にトランシーバーを持たせ(運転手には貸し出し)、中継施設(積み込み施設)への投入状況(何トン投入したか)、コンベア上のごみの状況(ごみは搬出し終ったか)、トラックの停止位置への誘導など情報の共有化を図り、積み込み時間の短縮ができた。また、運転手から道路の混雑状況を開き、到着と同時に積み込み作業が出来るよう、スライド勤務にて早めの昼休みを取った。このように、情報の共有化が時間の短縮につながり、効率よく積み込むことができた。今後も、連絡を密に取り情報の共有化により、作業効率の向上を図っていく。										